事前防災地区整備プロジェクトの単地区

(瑞浪市 稲津町小里 川折)



1. 現状と課題

平成26年8月豪雨により山腹斜面が崩壊し、崩壊した土砂や流木が下方へ流出しました。渓流では、豪雨により谷が削られ土砂が発生しており、今後の豪雨で流出するおそれがあります。

また、周辺森林は手入れ不足により林内に光が届かず下層植生が衰退しているため、適切な管理が必要です。

2. 対策

崩壊した斜面を早期に復旧するための緑化工と渓流の侵食や堆積した土砂の移動を防止するため谷止工の設置、下層植生の発達を図るための間伐を計画しました。5基の谷止工と1000m2の緑化工を施工するとともに、5.7~クタールの間伐を実施しました。

治山工事と森林整備の作業エリアが近接するため、関係機関と実施計画に関する打ち合わせを行い、安全管理の徹底に努めました。